

ユーラシアンホットライン

一緊急支援募金のお願いー

目標：750万円！！

在日キルギス共和国大使館の書記官を務め、一時帰国した千ムールさんに脳腫瘍が見つかり、年の暮れ(2015年12月28日)東京ガンセンターで緊急手術が行われました。

私は、加藤九祥先生と一緒に何度も訪問した縁深い国がキルギス共和国。クタノフ元大使の文化顧問として、三越劇場で日本とキルギスをつなぐ文化交流史をテーマに音楽祭を開催したり、名橋「日本橋」保存会による野外イベントに参加し、キルギス共和国の発展の為にグランドデザインをまとめ、「アジアの瞳」というキルギスのキャッチコピーを提供しています。千ムールさんは「スペク・モロドガジェフ」前大使を影で支えユーラシアンクラブを通じた交流活動に協力してくれました。

4日手術を終えた千ムールさんと電話で話すことが出来ました。手術は成功し、腫瘍は切除され、手足に不自由を感じることもないそうです。これから放射線治療、化学療法などが続き、大変な思いをすることになりそうですが、とりあえずホッとした気持ちで声の様子で伝わりました。

しかし、手術費用が400万円、今後の治療が400万円から500万円、入院費用を含めると1000万円ほどかかる見込みで、友人たちが始めたこれまでの緊急募金で150万、千ムールさんの自己資金が100万円で、あと750万円ほど足りない状況です。千ムールさんの立場はキルギス大使館で務める館員で、日本の国保は使えず、皆さんからの募金が頼りとなっています。

私は、友人知人の皆さんに呼びかけます。これまで、日本とキルギスの交流促進のために、大使館発足の頃から誠心誠意を尽くして活動してきた千ムールさんの治療費をねん出する為、緊急募金に応じてください。どうぞよろしくお願いします。

緊急募金の振込先は、友人によるアピール文書にある通り、

【三菱東京UFJ銀行 目黒駅前支店 普通 0035442 口座名：チョンムルノフ 千ムール】

重ねてご協力をお願いいたします。



親愛なる皆様

皆様は、私達の共通の友人であるチョンムルノフ・テムールさんを良く覚えていらっしゃると思います。

チョンムルノフさんは常にキルギスと日本をつなぐ清らかな「友情の架け橋」であり続け、両国の協力発展に尽力してきました。2011年3月の東日本大震災の際には、キルギス共和国による人道支援実現のために奔走し、仙台への物資供給にも積極的に取り組んだことがありました。そのチョンムルノフさんが、いま大きな困難に直面しています。そして、私達の助けを必要としています。

先日、チョンムルノフさんに脳腫瘍が発見されました。現在東京で緊急手術を控えています。しかし、医療保険適用外の施術・治療を伴うため、莫大な額の医療費がかかることとなります。そこで我々は、キルギスと日本の有志でチョンムルノフさんへの支援を募ることに致しました。私達の大切な友人チョンムルノフ・テムールの命を救うため、どうか皆様の温かい支援の手を差し伸べていただけないでしょうか。

心からお願い申し上げます。

チョンムルノフ・テムール支援の会一同

支援金振込口座番号：三菱東京UFJ銀行 目黒駅前支店

普通 No.0035442

口座名：チョンムルノフ テムール

【新春ごあいさつ】

NPO ユーラシアンクラブ 理事長 江藤 セネカ

明けましておめでとうございます。

昨年は本会の活動にご理解とご支援を賜りありがとうございました。今年も一層のご指導ご鞭撻をお願いします。

今世界では、イスラムを語った残忍な事件が頻発していますが、もともとイスラムとは困った人を助けるという言葉から来ています。イスラムとは無縁な行いに胸を痛めています。私の祖国アフガニスタンでは、戦争や逼迫した残酷な貧しさを避けるため、今でも命がけでヨーロッパに逃れるたくさんの若者がいます。戦争は、人々を殺戮するだけでなく、こうした人びとの離散をもたらし、特に何の罪もない女性や子供たちが最大な被害者となっています。さらに大切なことは、これまで伝えられた文化や習慣も破壊しています。人々が誇りに思ってきた民族文化のアイデンティティが危機に瀕しています。誰に責任があるのでしょうか。

私たちには、祖国の伝統文化を伝え、平和につなげる役割があると考えています。いつか、海外に逃れた若者たちが祖国に戻り、国の再建に参加する時に、伝統文化に誇りをもって欲しいと考えています。

幸いに今年はユーラシアンクラブの関係するアフガニスタンの貴重な秘宝「黄金のアフガニスタン」特別展が九州国立博物館にて1月1日から2月14日まで開催されます。東京国立博物館には4月12日から6月19日となります。

新春早々、私の母国アフガニスタンにおいて命懸け

で守られた貴重な秘宝の数々が今回日本で公開される機会が得られたことを心から嬉しく思います。

イスラム以前のシルクロードの交流は奈良時代の記録・美術品等から間違いなく日本と中央アジア諸国との深い結びつきがあったことを示しています。今回公開される秘宝は、こうしたシルクロードを通じた交流を髣髴とさせるでしょう。

ユーラシアンクラブは今年秋以降、日本橋三越本店を会場として、アフガニスタン大使館を初め、モンゴル国大使館、トルクメニスタン大使館、タジキスタン大使館、ウズベキスタン大使館、キルギス大使館、カザフスタン大使館の7カ国大使館、三越、名橋「日本橋」保存会と共催して、中央アジアの文化を発信する「アジア・シルクロードウィーク」を計画しています。そのため自転車振興会に補助事業の申請をし、協賛企業も募集しています。外務省中央アジア・コーカサス室にも後援と協力をお願いしています。

現代は日本の優れた技術や商品が中央アジア諸国の発展に、また同時に中央アジア諸国の資源、生産品、産業発展が日本にとっても重要な時代になっていきます。私たちの活動を通じて少しでも広大なユーラシア大陸の諸国をお知りになり、そして相互理解を深めることが出来れば幸いです。

今後とも NPO ユーラシアンクラブをよろしお願いします。

【新春のごあいさつ】

NPO ユーラシアンクラブ 副理事長 バー・ボルドー

明けましておめでとうございます。皆様には佳きお年を迎えられたことと拝察いたします。今年もよろしくお願いたします。

さて、ユーラシアンクラブは、大野会長のご尽力により、昨年「岩に刻まれた古代美術」展の開催など大きな活動を成し遂げ、なお継続中であります。また今年の秋をめどにシルクロードウィークと言う7ヶ国の文化交流・紹介を目的とするイベント開催の準備に取り掛かっています。その中にはユーラシアンクラブとゆかりのあるモンゴル国が含まれることは言うまでもありません。

日本とモンゴルの関係は新しい時代を築きつつあります。周知の通り、2015年安倍総理が2度目のモンゴル訪問、8度目の首脳会談を行いました。総理大臣在任中にモンゴルを2度訪問した日本の総理は初めてであり、それは安倍政権としてモンゴルを特に重視していることの現れであり、両国は政治、経済、文化の分野で親密に協力し合うこ

とを確認しました。このような状況下において日本で民間による文化交流活動を行うことは誠に有意義であり、日本国政府の政策の具体的な具現であると思います。

一方、私は、昨年公私によるさまざまな事情が重なって、ユーラシアンクラブに貢献できなかったことを反省しているところです。皆様にはご迷惑をお掛けしたことを申し訳なく思います。今年こそフンドシを締めなおして頑張りたい所存であります。

新しい年を迎え、獅子奮迅の気持ちで皆様と一緒にユーラシアンクラブのさらなる発展に貢献したいと考えております。皆様には叱咤激励のほどよろしくお願い申し上げます。

2016 年元旦

【アジア・シルクロードウィーク準備状況】

NP0ユーラシアンクラブ 理事 永田真一

2015 年秋口に開催を計画していた「アジアシルクロードウィーク」は諸般の都合により 2016 年 11 月以降 2017 年 2 月までには開催できるよう準備を進めています。

2014 年暮れから 2015 年 4 月にかけて 7 か国大使館（西からトルクメニスタン、ウズベキスタン、カザフスタン、アフガニスタン、タジキスタン、キルギス、モンゴル国）を訪問、各国大使の同意を取り付け、開催場所として日本橋三越本店中央ホール吉祥天女像（まごころ）前を無償提供いただく同意も得ています。

12 月 18 日に外務省中央アジア・コーカサス室を訪問、モンゴル国はアジア局、アフガニスタンは中東局の管轄になりますが、経産省他担当者の紹介窓口になっていただけることになりました。

開催に当たっての意見・情報などお聞きでき、全面的な協力もお願いできそうです。

開催の最重要事項である公益財団法人 JKA（財団法人日本自転車振興会が日本小型自動車振興会の全業務を承継した団体で競輪、オートレース、自転車、小型自動車の頭文字を混在させた名称）の補助事業 RING!RING!プロジェクトに昨年 8 月応募、現在審査中です。

2 月から 3 月には結果が発表される予定です。

並行して安倍首相がモンゴル国と中央アジア 5 か国を訪問する前の段階でニュースレター「トルクメニスタン特集号」を発刊 20 ページの冊子も作成しました。

同様の構成で「アジアシルクロードウィーク」に参加する他の 6 か国の紹介文を作成するため、キルギス、カザフスタン大使館からは既に資料提供の協力をいただいています。

今後セデカ理事長がアフガニスタン、タジキスタンそしてボルドー副理事長がモンゴル国より、私がウズベキスタン大使館より資料提供を受け 7 か国の原稿として大野会長が 3

月末までに基本形を完成させる予定です。

「アジアシルクロードウィーク」は 2020 年までの 5 年間継続して開催する予定です。

今回のイベント実施のために係る費用は 800 万以上となります。

そのうち補助金は 2/3、不足分を冊子への広告料、寄付で賄う必要があります。

7 か国との各協力団体や友好協会などにも資金を含めた協力をお願いすることも必要です。

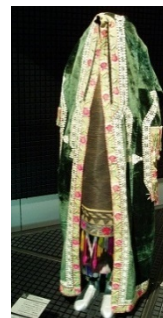
会員全員が協力して初めて成功に導けるくらいの大規模な事業です。

今月末位から各国担当者が 2 か月に一回くらい集まり実行委員会を開催します。

日本で初めての 7 か国大使館共催 事業です。

会員以外の方でも協力いただける方を広く募集します。

～歴史に立ち会ってみませんか？～



**【時空を超えたアジア・シルクロードの終着駅「日本橋」で「もう一つのアジア発見」
ーアジアシルクロードウィークー**

- 企画内容 : 音楽祭と民族衣装のファッションショーを開催
アジア諸国・民族の観光文化、物産の展示、セミナーの開催
- 場所 : 三越本館吉祥天前スペース
- 趣旨内容 :
 - 1 政府においては、発展するアジア諸国と「東アジア共同体」を模索する動きがあるが、等身大のアジアが見えていない状況のままであり、アジアの理解親睦協力の方向で民間のできる活動が必要になっている。
 - 2 そこでNPOユーラシアンクラブがこれまで培ってきた交流を基盤に、在日のアジア諸国大使館と共催し、音楽祭と民族衣装ファッションショー、諸国・諸民族を表象する工芸品・物産の展示を行い。5 年間にわたりアジア諸国・民族の観光文化の紹介を行う。
 - 3 【共催大使館】アフガニスタン、ウズベキスタン、カザフスタン、キルギス、タジキスタン、トルクメニスタン、モンゴル国
- 諸経費
 - ※ 公演に参加するミュージシャン等への報酬
 - ※ イベント用什器・備品の使用料
 - ※ 音響・照明機器、スタッフへの報酬
- 開催方法
 - 1 主催：名橋「日本橋」保存会とユーラシアンクラブ及びアジア諸国大使館の「共催」とし、「実行委員会」を設置して開催する。
 - 2 後援：外務省、文化庁、アジア諸国の議員連盟、「霞が関夫人の会」
 - 3 協力：アジア諸国の友好協会
 - 4 協賛：公益財団法人 JKA（申請中）
 - 5 企画・製作：NPOユーラシアンクラブ

【事務局】 特定非営利活動法人ユーラシアンクラブ 理事長：江藤 セデカ
住所：東京都中央区日本橋室町 1-11-5
電話：03-5371-5548

● クラウディア・ハトラエヴァさんは故郷のビリュースキー・ウルス(区)の名誉市民に 現在、サハ共和国から来日するテティムの子供達の参加者を調整中です

サハ共和国国立劇場専属音楽家 ゲルマン・ハトラエフさんの妻、クラウディア・ハトラエヴァさんが故郷のビリュースキー・ウルス(区)の名誉市民に選ばれました。ウルス議会の全会一致でした。クラウディアさんは、夫のゲルマンさんと一緒に、サハ共和国の民族音楽の継承と再生に取り組み、ヤクーツク市内の中等学校を拠点に若者の育成に取り組み、日本との間では、佐渡島の和太鼓集団鼓童との交流や神奈川県愛川町の愛川高校武道場での和太鼓研修、和太鼓部や和太鼓部卒業生のユニット「打縁」との交流を通して、多くの若者を太鼓集団「テティム（リズムの意味）」にまとめあげ、150人に上る、一大文化集団として育成、現在民族音楽研修センター立ち上げのため努力しています。また最近、

愛川町との交流は、2010年以来7年目を迎え、東日本大震災による原子力発電所のメルトダウンを心配して、2年間は鼓童とトップアーティストだった金子竜太郎さんをヤクーツクに招聘し研修を続け、その後も強い要望で愛川町への訪問は続き、来年で7年目を迎える日本でも稀有な国際交流として注目されています。

今年は、
3月27日
成田着で、
子供たちを
中心とする
テティムの



グループと年配者の国際交流グループの 2 グループが愛川町を訪問する予定になっています。サハの訪問団を受け入れのため、愛川町では 10 数人の実行委員会が発足し、諏訪部勲実行委員長、赤川猛事務局長を中心に 9 月から毎月 1 回の会議を重ね、① 4 月 2 日に愛川町文化会館で音楽祭を開催し、テティムの研修成果を発表する②音楽祭の前後 5 日間、文化会館で音楽祭の主要な団体となるサハ・テティムとネパールの国民的バンスリ（横笛）奏者パンチャラマのチョウタリバンドと愛川町の交流史を紹介する展覧会を開催する③サハ共和国訪問団が来日する 3 月 27 日海老名駅前中央公園でゲリラライブを敢行し、音楽祭の広報や寄付集めを行なう④チラシ作成や音楽祭の運営に打縁のメンバーが参加する一方向で準備中です。

愛川町とサハ共和国の交流の形が変化しようとしています。ご期待下さい。ユーラシアンクラブ・愛川サライは引き続き企画制作者としてサハ共和国の受け入れの責任を果たします。



● パンチャラマさんプロデビュー 30 周年記念ライブ開催

ファンクラブも結成し、円熟の演奏を普及。近く新しいCD「天の道」が発売されます。

ヒマラヤ山中にある、ネパール国ヒララヒ村に笛の好きな子供がいました。山々で鳥と鳴き交わし、サッカーゲームのパス回しの合間にも笛を吹く少年は村祭りの演奏が評判になり、村々から呼ばれるようになりました。15 歳の時、この演奏を聞いた、首都カトマンズのディレクターの目にとまり、国王の前で演奏し、プロデビュー。以来、プロとしてラジオ、テレビで演奏するようになり、1994 年大阪花博覧会を契機に来日、日本を拠点に演奏と作曲を行うようになり、1996 年チョウタリバンドを結成。ヒーリングマジックと評されるパンチャラマのバンスリ（横笛）の音色は、多くのファンを集めるようになりました。大野遼は 10 数年前、シタール奏者の伊藤公朗さんの紹介で、私が主催するアジア・シルクロード音楽フェスティバルの常連出演者をお願いするようになり付き合いが始まり、愛川町に引越してからは 9 年連続で毎年、愛川町のイベントや音楽祭で演奏を披露し、チョウタリバンドは、愛川町での「笛と太鼓の音楽祭」に欠かせないグループとなっています。

11 月 8 日東京・北沢ホールで開催されたコンサートで、私はパンチャラマを紹介する冒頭ナレーションを担当し、最近インドで開催された世界フルートフェスティバルに招待され、師匠のいないプロ奏者を激賞し「人々を癒しながらインド洋に注ぐヒマラヤの河のようだ」と、日本では「ヒマラヤの風」と評されるパンチャラマの笛の音入りをガンジス河に例えて、ヒーリングマジックを強調していたことを紹介しました。

パンチャラマとチョウタリバンドは、今年 4 月 2 日愛川町文化会館で開催される第 7 回アジア・シルクロード音楽フェスティバル「笛と太鼓の音楽祭」で、サハ共和国の子ども達テティムによる研修成果の発表、指導者のハトラエフ夫妻が披露するシベリアンエコーの紹介と合わせ、完成度の高い演奏を披露する予定です。ことしから、音楽祭の運営に、愛川高校和太鼓部の卒業生で構成する和太鼓ユニット打縁のメンバーが参加します。



● 第 22 回モンゴル・フフ大会開催

10 月 11 日開催された板橋モンゴル文化交流会&第 22 回フフ大会は無事終了。64 名のトーナメントでは、イフタミル(モンゴル国)が優勝し、ダンバ(モンゴル国)が準優勝となり、シオンホル(フフクラブ、内モンゴル)とバーサンドルジ(日本ウウルネススポーツ大学、モンゴル国)がそれぞれ 3、4 位となった。同ミニトーナメント(モンゴル人以外の選手が参加)では、ベテランの久

ユーラシアンクラブ ニュースレター第 175 号 2016 年 1 月 1 日

米克宏が優勝し、吉田貴宏が準優勝し、タブル宏が活躍した。その他音楽、シャガイ弾きなどもりたくさんの内容で楽しんでいただいた。共催および協賛各社、そしてご来場の皆様にはこころよりお礼を申し上げます。（この稿、バーボルドーさんのフェイスブックより）



<バイオマス産業社会ネットワーク（BIN）第 154 回研究会のご案内>

日 時：2016 年 1 月 28 日（木） 15:30～17:30
テーマ：「再生可能エネルギー固定価格買取制度（FIT）
における木質バイオマス発電の現状と課題」
講演者：泊 みゆき（NPO 法人バイオマス産業社会ネット

ワーク理事長）
会 場：地球環境パートナーシッププラザ
（東京都渋谷区神宮前 5-53-70 国連大学 1F）
地下鉄表参道駅より徒歩 5 分・JR 他渋谷駅より

※2012 年に再生可能エネルギー固定価格買取制度開始以来、木質バイオマス発電の認定（未利用および一般木質）は、200 万 kW 以上に上ります。

※特に、製材端材、輸入バイオマスを燃料とする「一般木質バイオマス発電」だけでも 170 万 kW が認定されていますが、この大半は輸入バイオマスによって賄われると考えられます。

※また、未利用材を主とする発電所においても、輸入バイオマスの利用を見込んでいるケースが多くあります。

※日本の木質バイオマス発電の計画・建設・稼働をめぐる現状と、直面する課題について、参加者の皆様とともに、活発なディスカッションができれば幸いです。

※当日、日本が輸入を想定しているバイオマスの生産地の状況についての動画の発表も行う予定です。

※参加をご希望される方は、下記よりお申し込みください。

<http://www.npobin.net/apply/>

メディア・ユーラシア情報 ネットリサーチ

東京外国語大学「日本語で読む中東メディア」が注目 <http://www.tufs.ac.jp/common/prmeis/fs/> です。

【北アジア】

● 首相 北方領土「柔軟対応を」

2015 年 12 月 16 日 06:06 JST

安倍晋三首相が 11 月の日ロ首脳会談で、北方領土問題に関し、かつてプーチン大統領が使った「引き分け」という表現を引き合いに、進展には双方の柔軟な対応が必要だと説くとともに、前向きな姿勢を促していたことが分かった。プーチン氏は理解を示した上で、首相にロシアの地方都市への訪問を要請した。日ロ外交筋が 15 日明らかにした。

引き分け決着はプーチン氏が、2 度目の大統領に就任する前の 2012 年 3 月、一部外国メディアとの会見で発言。譲歩の姿勢をにじませたとして真意が注目された。

<http://jp.reuters.com/article/idJP2015121501002049>

● 首相 訪口を本格調整

2015 年 12 月 10 日 15:40 JST

安倍晋三首相は来春にもロシアを訪問する方向で本格的な調整に入った。プーチン大統領が 11 月の日ロ首脳会談で、ロシアの地方都市に首相を招待する意向を示したことを踏まえた。複数の日ロ外交筋が 10 日、明らかにした。

日本はプーチン氏の年内来日を見送り、2016 年前半とする方向で再検討している。首相はこの方針を堅持しつつ、その前にロシアを訪れて停滞している北方領土交渉打開への糸口をつかみたい考えだ。

来年 5 月の主要国首脳会議（伊勢志摩サミット）前にプーチン氏と会談することで、ロシアと欧米諸国の「仲介役」を担い

たい意図もあるとみられる。

<http://jp.reuters.com/article/idJP2015121001001229>

● シリア協議、18 日に多国間協議 米露が合意、国連決議案作成へ

2015. 12. 16 10:29

【モスクワ＝黒川信雄】ロシアのラブロフ外相は 15 日、米国が進めてきたシリア情勢をめぐる多国間外相級協議の 18 日開催について、ロシアも参加することを明らかにした。訪露したケリー米 국무長官とモスクワで共同記者会見で語った。

ラブロフ氏は 18 日の協議で、これまで 2 度にわたり開催された多国間協議の成果を国連安全保障理事会決議案としてまとめる考えを表明した。ケリー氏も同意し、今後の交渉の進展や、停戦に向けた流れができることに期待を示した。ケリー氏はこの日、プーチン露大統領とも会談した。

11 月に開催された前回の多国間協議では、シリアの移行政権樹立に向け、1 月にアサド政権と反体制派の交渉を開始する方針が確認された。しかしロシアはその後、反体制派の構成をめぐる各国間の合意がされていないとし、18 日の協議開催は「時期尚早だ」と主張。ロシアは今回、反体制派のリスト作りを継続することで合意した。

ただロシアが支援するアサド大統領の処遇については、ケリー氏が「将来のシリアで指導者を務める可能性はない」と断じるなど、米側は妥協しない姿勢を鮮明にした。

<http://www.sankei.com/world/news/151216/wor1512160018-n1.html>

【西アジア】

● 欧州への難民 100 万人超に＝過去最多、シリア出身中

心 2015 年 12 月 22 日 (火) 22 時 55 分

【ベルリン時事】国連難民高等弁務官事務所（UNHCR）と国際移住機関（IOM）は 22 日、今年欧州に入った難民や移民の数が 100 万人を超え、過去最多となったと発表した。このうち、97 万人以上が地中海を渡った。

地中海経由では難民らの半数が、内戦が長期化するシリア出身者で、アフガニスタン、イラクからが続いた。1 月は計約 5500 人だったが、ピークを迎えた 10 月は 22 万 1000 人にまで膨らんだ。地中海での死者・行方不明者は 3600 人を超えている。

全体の 80 万人以上はトルコから地中海を経てギリシャに入った。欧州諸国はトルコと協力し、難民数の抑制に動いているが、どの程度効果が出るかは未知数。来年も欧州への難民流入ペースは変わらないとの見方が出ている。

<http://news.nifty.com/cs/world/worldalldetail/ji-2015122200929/1.htm>

○ 欧州へのシリア難民は、全体の 10% 以下（再掲）

<http://jp.reuters.com/news/world/mideast> →

【中央アジア】

● IS の情報戦略、アフガニスタンで宣伝ラジオ放送開始

イスラム教過激派組織「イスラム国（IS）」が最近になってアフガニスタン国内で始めた宣伝用ラジオ放送に、治安当局が頭を抱えている。

IS はパキスタンとアフガニスタンで活動を活発化しており、タリバンに代わる武装勢力として多くの元タリバン兵士を勧誘しており、ラジオ放送は募兵手段として始まったもの。

「カリフ（後継者）の声」と呼ばれる 90 分間のパシュトー語放送は、対談と IS からのメッセージがほとんどだが、電波の発信源が掴めないため野放し状態になっており、治安当局は放送を聞いた者が IS に参加するのではないかと危惧している。

（アフガニスタン、ジャララバード、12 月 21 日、取材・動画：ロイター、日本語翻訳：アフロ）

<http://news.nifty.com/cs/world/worldalldetail/reutersvid>

● アフガン基地近くで自爆テロ、米兵 6 人死亡 戦闘任務終了の NATO 軍、最悪の事態

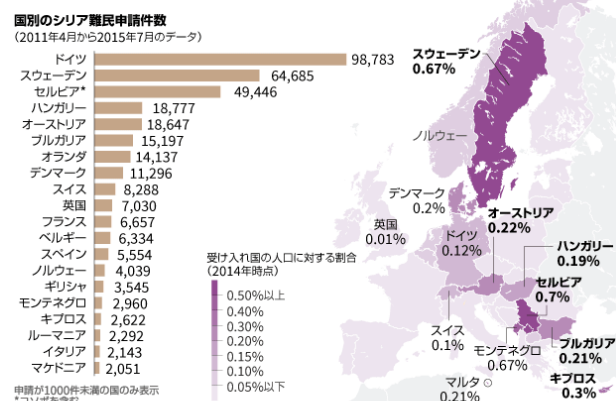
【ニューデリー＝岩田智雄】アフガニスタンの首都カブール近郊のバグラム空軍基地付近で 21 日、自爆テロがあり、AP 通信などによれば米兵 6 人が死亡、米兵とアフガン人計 3 人が負傷した。イスラム原理主義勢力タリバンが犯行を認めた。今年起きた米兵への攻撃の中では最悪の事態となった。

テロ犯は、バイクに爆弾を積んで自爆した。米軍主導の北大西洋条約機構（NATO）は昨年末でアフガンでの戦闘任務を終了し、今年、訓練や助言中心の活動に移行している。カーター米国国防長官は、米兵が引き続きテロの標的になっていることへの「痛切な思い」を表明した。カブールでは 11 日にもタリバンによる自爆テロがあり、スペイン人警官 2 人を含む 6 人が殺害されている。

一方、南部ヘルマンド州もタリバンとの激しい攻撃を受け、州副知事が 20 日、フェイスブックで支援を要請した。北東部サ

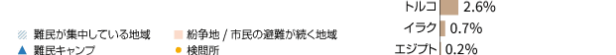
欧州への亡命を希望するシリア難民

2011 年 4 月から 2015 年 7 月までに、欧州へ難民申請を行ったシリア人の数は 34 万 8540 人。申請を受けた 37 か国の全人口（2014 年）の 0.06% にあたる。

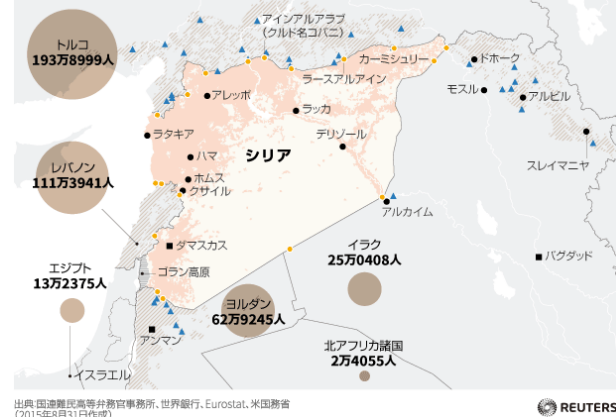


増加し続けるシリア難民

国連難民高等弁務官事務所によると 400 万人以上のシリア難民がエジプト、イラク、ヨルダン、レバノン、トルコへと逃れている。



シリア難民の人数（2011 年 11 月から 2015 年 8 月 25 日までのデータ）



eo-20151222-49222/1.htm

ンギン郡当局のスライマン・シャー氏は 22 日、産経新聞の衛星電話取材に「郡庁舎内などにいる 200～250 人の職員と治安部隊要員が 2 日前からタリバンに包囲されている。武器や食料が枯渇し始めた」と述べた。アフガン国防省は 21 日に部隊を増派、英軍も支援のため人員を現地に派遣した。

米国防総省の発表によれば、アフガンの治安情勢は今年になって悪化しており、11 月 15 日までのアフガン治安部隊の犠牲者は前年同期比で 27% 増えた。治安部隊の能力は「むらがあり、寄せ集めだ」という。

<http://www.sankei.com/world/news/151222/wor1512220044-n1.html>

● 「タリバン攻勢、救援求む」－アフガンの州知事、フェイスブックで大統領に直訴 2015.12.22 00:28

アフガニスタン南部ヘルマンド州で反政府武装勢力タリバンの攻勢が強まり、州の副知事が 21 日までに、ガニ大統領宛て

に救援を求める“嘆願書”をフェイスブックに投稿した。AP通信などが報じた。

投稿によると、ヘルマンド州では過去1カ月の間に、タリバンとの戦闘で90人以上の治安部隊員が死亡。副知事は大統領に対し「ヘルマンド州は安全だというのを信じないで、悲劇から守ってほしい」と訴えた。

【南アジア】

● パキスタンのタリバン運動、IS指導者のカリフ宣言を拒否 2015.12.20 19:59

【ニューデリー＝岩田智雄】パキスタンでテロを繰り返すイスラム武装勢力「パキスタンのタリバン運動」(TTP)は20日までに発表した声明で、イスラム教スンニ派過激組織「イスラム国」(IS)が指導者のバグダーディ容疑者をイスラム共同体の指導者「カリフ」(預言者ムハンマドの後継者)と宣言していることを拒否した。ロイター通信が伝えた。

タリバン運動は「バグダーディは特定の人々と領域を統率しているだけだ」とし、宣言を「イスラム法(シャリーア)に基づいていない」と主張した。また「バグダーディの部下は、多くの無実のムジャヒディン(イスラム戦士)などを殺している」と非難した。

【東南アジア】

● タイでテロの恐れ、ロシア情報機関が警告 組織関連するシリア人10人が入国 2015.12.4 16:41

【シンガポール＝吉村英輝】ロシアの情報機関がタイ当局に、「イスラム国」とつながりがある10人のシリア人がタイに入国し、タイ国内のロシア関連施設に攻撃を仕掛ける恐れがあると警告していたことが4日、分かった。

ロイター通信は、11月27日付の「緊急」扱いのタイ公安警察の内部資料の情報として、10人が10月15～31日にタイに入国したとしている。資料はソーシャルメディア上に流出し、警察が資料の存在を認めた。

タイ当局によると、10人の一部は入国後、首都バンコクのほか、国内有数の観光地であるパタヤやプーケットに渡ったことを確認しているという。また、ロシア以外の国からはイスラム国に関する情報の提供はないとしている。

ロシアは9月末、イスラム国の打倒を名目に、シリアへの空爆に踏み切った。

<http://www.sankei.com/world/news/151204/wor1512040040-n1>

【東アジア】

● 焦点：軍備増強するベトナム、南シナ海で中国との衝突も視野

【スアンマイ(ベトナム) 17日 ロイター】 - 軍の近代化を加速させるベトナムは、南シナ海の領有権問題をめぐり中国との武力衝突を覚悟しているようだ。10年にわたる軍の近代化は、ベトナム戦争が最も激しかった時代以降で最大規模の軍備増強となっている。

フェイスブックに投稿した理由については「適切な場ではないが、私の声が届かず、他の手段が分からなかった」とした。

アフガン内務省の報道官は21日、ヘルマンド州の治安部隊への支援作戦を強化していると明らかにした。(共同)

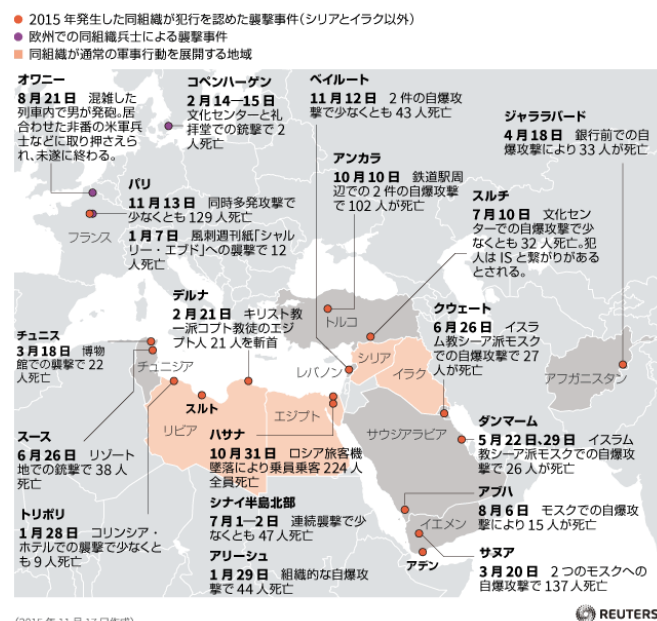
<http://www.sankei.com/world/news/151222/wor1512220004-n1.html>

パキスタンでは今年5月、南部カラチでバスに乗った少数派のシーア派信徒45人が殺害され、ISが犯行声明を出した。タリバン運動の中にはISに忠誠を誓い、戦闘員をIS支配地域に送ったと表明し、組織から追われた者もいる。タリバン運動は内部に派閥対立を抱えており、一部がISに流れることを警戒しているといえそうだ。

隣国アフガニスタンでもタリバン運動と同盟関係にあるイスラム原理主義勢力タリバンが今年6月、ISに、ジハード(聖戦)に干渉しないよう警告した。両者の間では再三戦闘が起きている。駐留米軍はアフガンのIS勢力を1千～3千人と見積もっている。

<http://www.sankei.com/world/news/151220/wor1512200031-n1.html>

活動領域を拡大する過激派組織「イスラム国」



[.html](#)

化歩兵師団」も含まれている。

ベトナムと中国は、南シナ海の南沙（英語名スプラトリー）諸島と西沙（同パラセル）諸島で領有権を争っている。

「われわれは中国との衝突は望まないし、外交政策を信頼すべきだが、最悪の事態に備えなければいけないことも承知している」と、あるベトナム政府幹部は匿名を条件に話した。

だが、ベトナムがロシアからキロ型潜水艦 6 隻を購入し、ほぼゼロから海軍の抑止力を構築していることには大きな意味があるだろう。

この数カ月で、ロシアから購入した潜水艦の第一弾が南シナ海で哨戒活動を開始したと、ベトナムと他国の軍関係者は明らかにしている。

<第 308 歩兵師団>

首都ハノイ北西にある第 308 機械化歩兵師団の本部では、軍事的緊張が高まっているのは明らかだ。同師団はベトナムで最も古い師団であり、現在でもハノイへの北方経路を効果的に監視している。

「高戦闘態勢」といった言葉や「新たな状況」への言及が、軍事基地を訪問する高官の講演や、ベトナム人民軍の刊行物のなかで増えている。

「ベトナムが『新たな状況』と言う場合、特に南シナ海における中国との武力衝突や戦闘の可能性が高まっていることを示すえん曲表現として使っている」と、1960 年代後半からベトナム軍を研究するオーストラリア国防大学のカール・セイヤー教授は指摘する。

戦闘準備を進める一方で、これまであまり姿を見せなかった軍高官たちが幅広い戦略的パートナーと接触している。ロシアとインドは、高性能兵器の入手や、訓練、諜報協力における主な相手国となっている。また、米国やその同盟国である日本やオーストラリア、フィリピンのほか、欧州やイスラエルとも関係を構築している。

ストックホルム国際平和研究所（SIPRI）の推定によると、ベトナムの軍事費拡大は、過去 10 年で他の東南アジア諸国を凌駕（りょうが）している。

「これは国家的記念日のパレードで使われているのではなく、実際の軍事能力構築に使われている」と、シンガポールにある国際戦略研究所（IISS）アジア事務所の地域安全保障専門家ティム・ハクスリー氏は指摘した。

<石油リグが火種に>

ベトナムも中国も共産党が支配し、政治的結び付きがあるものの、両国間には武力衝突の歴史や、長期にわたり不信感に覆われた過去がある。

最近では、昨年半ばに中国が領有権を争う海域に 10 週間、石油掘削装置（リグ）を設置し、ベトナム全土で反中暴動が起

きた。

この石油リグ設置は、政治・軍事指導者らの間で中国の習近平国家主席への疑念を深めることになり、事態を一変させたと、ベトナム政府当局者は明かす。

「南シナ海がいかに危険であるか、われわれ全員が改めて思い知らされた」と、米海軍のある退役将校は話す。

中国の専門家によれば、1974 年に西沙諸島の戦いでベトナムが中国に敗れて以降、ベトナムが南沙諸島に設置した 20 カ所以上の前哨基地に中国の軍事戦略家は長年、不満を抱いているという。中国は、1988 年の南沙諸島海戦でベトナムに勝利し、手に入れた岩礁に建設した人工島に 3 つの滑走路を建設している。

中国国防省はロイターに対し、同国とベトナム両国の軍は友好的で近い関係にあり、地域の平和のためにベトナムと協力することに労を惜しまないと書面で回答した。

<心理的な不安>

中国にとって重要な同国の海南島が新たな火種となる可能性もある。

中国は同島に原子力潜水艦隊を駐留させる予定であるほか、戦闘機や最新鋭の軍艦の多くがすでに周辺に存在する。この「南海艦隊」は、ベトナム北岸や、南シナ海とそれを超える海域へと出るのに不可欠な同国の領海に近く配備されている。

他国の軍使節らは、ベトナムの実際の軍事能力や、彼らが複雑な新兵器をいかにうまく統合しているかについて判断するのに苦労していると話す。

ベトナムの軍事戦略家は「最小限の信頼できる抑止力」の構築について語る。しかしそれは、海軍同士の対立であろうと、1400 キロにわたる北部国境付近での攻撃であろうと、中国がベトナムに対して何らかの行動に出るリスクを高めている。

もし衝突が勃発すれば、ベトナム政府は南シナ海を通過する中国のコンテナ船や石油輸送船を攻撃目標にする可能性がある」と、前述のオーストラリア国防大学のセイヤー教授はベトナムの軍事戦略家の話として語った。

ベトナムの目的は自国に勝る中国軍に勝利することではなく、「中国に十分な損害と心理的不安を与えて、保険料率を跳ね上げらせ、外国人投資家をパニックに陥らせること」だと、セイヤー教授は先月にシンガポールで開催された会議で示した論文のなかで指摘している。

この記事に関してベトナム外務省にコメントを求めたが、回答は得られなかった。

(Greg Torode 記者、翻訳：伊藤典子 編集：下郡美紀)

<http://jp.reuters.com/article/analysis-south-china-sea-vietnam-idJPKBN0U10S020151218>

【女性・子ども・若者・高齢者・難民】

● サウジで女性 20 人が初当選

【カイロ共同】イスラム教の戒律を厳格に守るサウジアラビアで 12 日行われた自治評議会（地方議会）選で、選管当局は 13 日、20 人の女性候補が当選したと明らかにした。AP 通信が報じた。

女性には今回から参政権が認められた。自治評議会の権限は都市開発の監視など限定的だが、女性初の公選議員誕生は同国では画期的で、権利拡大への一歩となる。

男性優位の価値観が根強いサウジだが、今年 1 月に死去したア

ブドラ前国王は地方参政権の容認など女性の政治参加に道を開いた。一方、現在のサルマン国王は保守的とされ、今後は女性進出にブレーキがかかるとの観測もある。

<http://jp.reuters.com/article/idJP2015121401001098>

※サウジ女性が今も禁じられている 9 つの事柄

【12 月 12 日 AFP】12 日、公職選挙に女性が初めて参加したサウジアラビア。世界で最も女性の権利が制限されているサウジアラビアでは今も、女性たちには次のようなことが禁じられている。

- ・運転——世界で唯一、女性の運転が禁じられている国。
- ・旅行——後見人となっている男性家族の同意なしに旅行はできない。
- ・結婚——後見人の同意が必要。
- ・仕事——後見人の同意が必要。
- ・衣服——頭からつま先までを覆う「アバヤ」と呼ばれる黒い布の衣装を着用しなければ、公の場に出てはならない。
- ・相続——男性と同額の遺産は受け取れない。
- ・職種——一定の職種には就けない。
- ・社交——レストランのような公の場で、親族でない男性と交流してはならない。
- ・離婚——男性のように簡単に離婚できない。

(c)AFP <http://www.afpbb.com/articles/-/3070049>

● 自爆犯の少女たち、爆発物携帯とは知らず 国連専門家が指摘

【12 月 16 日 AFP】ナイジェリアを拠点とするイスラム過激派組織「ボコ・ハラム (Boko Haram)」が、同国や周辺諸国に自爆犯として送り込む少女たちの多くは、自分が自爆させられることを知らない公算が大きいとする見解を、国連の専門家が明らかにした。

ボコ・ハラムはここ数か月、若い女性や少女を自爆要員に仕立て上げ、殺害や破壊行為を繰り返している。

こうしたなか、レイラ・ゼルギー (Leila Zerrougui) 国連事務総長特別代表 (子どもと武力紛争担当) は 15 日、記者団に対し、自爆攻撃に利用された子どもたちは特に、自分がこれから何をしようとしているのかが分かっていない場合が多いと指摘。

「少女たちの多くは、遠隔装置を用いて自爆させられることを知らない」とし、多くの場合、彼女たちの年齢はまだ 11～12 歳だと述べた。

ゼルギー氏は子どもを自爆攻撃に利用することについて、世界各地の紛争地帯で未成年者の安全の確保があらさまに軽視されている最悪の例の一つだと嘆いた。

また他にも、イスラム過激派組織「イスラム国 (IS)」や、キリスト教徒からなる中央アフリカの民兵組織「反バラカ (Anti-balaka)」といった武装組織が、多数の子どもを兵士として動員したり、まだ 4、5 歳ほどの子どもを戦場で人間の盾として利用したりするケースもあると述べた。(c)AFP

http://www.afpbb.com/articles/-/3070446?cx_part=txt_topics

● 陸軍士官学校司令官に初の女性任命、4000 人の訓練担当へ

【12 月 16 日 AFP】米国防総省はニューヨーク (New York) 州ウェストポイント (West Point) にある陸軍士官学校 (United States Military Academy) の士官候補生を監督する司令官に、初めて女性を任命した。当局者が 15 日明らかにした。

任命されたのは、イラクやアフガニスタンで従軍経験を持つディアナ・ホランド (Diana Holland) 准将。来年 1 月に第 76 代士官候補生隊司令官に就任する。

ホランド准将は校長の下で勤務し、同校の士官候補生 4000 人余りの訓練を担当する。

1802 年に創立された陸軍士官学校は士官候補生の養成・訓練に当たる機関で、授業料を含むすべての費用が支給される。

ホランド准将は声明で「わが陸軍のために、気骨ある指導者を訓練・育成するチームの一員になれるのを榮譽に思う」と述べた。

(c)AFP

<http://www.afpbb.com/articles/-/3070437>

● 「赤ちゃん製造工場」から少女 16 人救出 ナイジェリア

【12 月 6 日 AFP】ナイジェリアの警察当局は、南部イモ (Imo) 州の州都オウェリ (Owerri) の住宅を家宅搜索し、妊娠した 14 歳～19 歳の少女 16 人を救出したと発表した。警察では、少女たちは新生児の売買を目的に妊娠させられたとみている。

イモ州警察の報道官が 4 日に AFP に語ったところによると、この住宅は女性・子供の支援に取り組む非政府組織 (NGO) の事務所として登録されていた。警察は所有者の男を逮捕。住宅内からは未登録の散弾銃も押収されたという。

保護された少女らは警察官に対し、出産後に赤ちゃんを売り渡せば 10 万ナaira (約 6 万 4000 円) を支払うと言われたと証言しているという。

警察によれば、この住宅で最近生まれた新生児 1 人の所在が分からなくなっており、現在、当局が行方を搜索している。逮捕された男は赤ちゃんの居場所は知らないと供述しており、呪術用に売り飛ばされた可能性が高いという。

ナイジェリアでは近年、新生児の売買を目的としたいわゆる「赤ちゃん製造工場」の摘発が相次ぎ、先月も産油都市ポートハーコート (Port Harcourt) で違法なクリニックに家宅搜索が入って妊娠中の 10 代の少女 6 人が保護されている。(c)AFP

<http://www.afpbb.com/articles/-/3004569>

● 世界中の難民や避難民、過去最高の 6000 万人はるかに上回る＝国連

[ジュネーブ 18 日 ロイター] - 国連は 18 日発表した報告書で、強制的に住む家を追われた人々の数が今年、世界中で過去最高の 6000 万人を「はるかに超えた」との見方を示した。

国連難民高等弁務官事務所 (UNHCR) は「難民や国内避難民は 2015 年に初めて 6000 万人を超える見通しで、いまや 122 人に 1 人が家を追われたことになる」と報告書で述べた。2014 年末には全体で 5950 万人だった。

戦争や迫害を逃れて国境を越えた「難民」は推定 2020 万人で、1992 年以来最大。ドイツやロシア、米国では、今年上半年に過去最高の 100 万件近い難民申請が新たに提出され、約 250 万人分が未処理となっている。

国境を越えずにいる「国内避難民」は今年半ば時点で推定 3400 万人。2014 年の同時期より約 200 万人多い。3 月に内戦が勃発したイエメンが最も多く、新たに 93 万 3500 人が家を追われた。

依然として発展途上国の国境紛争地帯が、難民の最大割合を占めて

おり、報告書は「感情的な恨み」や「難民の政治利用」が増えていると警告した。

報告書は今年半ば時点の公式データに基づいている。地中海を渡って欧州に移民や難民が流入したピークは 10 月だった。

2011 年に始まったシリア内戦では、今年半ばまでに 420 万人が外国に逃れて難民となり、760 万人が国内避難民となっている。

<http://jp.reuters.com/article/refugees-total-id:JPKN0U10SG20151218>

● 日本での難民申請者数が 10 月末時点で 6160 人、過去最高に一 米メディア

2015 年 12 月 16 日、ロイター通信によると、日本での難民申請者

数が 10 月末時点で 6160 人となり、5 年連続で過去最高を更新した。

法務省によると、10 月末時点での難民申請者数は 6160 人で、昨年の 5000 人を既に上回っており、5 年連続で過去最高を更新した。昨年はネパール、スリランカ、トルコからの難民申請者が多く、今年もほぼ同様。日本は難民認定の審査が厳しく、昨年、難民に認定されたのは 11 人だった。法務省の担当者は、2010 年に制度が変更され、難民申請者が働けるようになったことで、申請者が増加したとの見方を示している。(翻訳・編集/蘆田)

<http://news.nifty.com/cs/world/chinadetail/rcdc-20151219-125253/1.htm>

○ アジアンレポート拡充のためボランティアスタッフを募集します。お問い合わせください。

○ ニュースレターへの感想をお願いします。

○ レター掲載原稿を募集します。

【再掲】 2016 年秋以降、日本橋三越本店一階中央広場を一週間借り

「アジア・シルクロードウィーク」開催計画

自転車振興会に補助金申請。アジア・シルクロード 7 カ国大使館・三越・名橋「日本橋」保存会と共催で 日本やアジアの基層文化形成に重要な役割を担ったシルクロード諸国の文化を発信 理解親睦協力を促進するのが目的

この計画は、ユーラシアンクラブの本部事務局を新宿から日本橋に移転して間もなく、江戸歌舞伎誕生の背景に、クシャーン朝に遡るアジアの音楽史があり、モンゴルが中国を支配した元の時代にトルコ系の火不思（クーブス）やチベットのダムニヤンを素材として、元朝の表象となる三種類の三弦（大三弦、中三弦、小三弦）が造られ、福建省を含む中国江南地域に普及した小三弦が、福建省から 1392 年に首里城に伝わり、1562 年沖縄から堺に着いた交易船で織田信長や琵琶法師の手に届いた。1625 年、江戸開府と共に、日本橋中橋の新地に小屋を開いた薩摩浄運の浄瑠璃小屋の浄瑠璃三味線が、猿蓑勘三郎の中村座の歌舞伎と出会い、日本橋の江戸歌舞伎誕生につながる、時空を超えたアジアの音楽史の終着駅日本橋の物語が完結する。今のアフガニスタンからウズベキスタン、キルギスを経由し伝わった、ペルシャ系のバルバットを起源とし、薩摩琵琶につながるもう一つの四弦琵琶の音楽史と三弦の音楽史が、琵琶法師澤住校枝の掌で交錯する物語でもあった。この音楽史には、クシャーン朝時代に出現した大乘仏教伝播のシルクロード史、ソグドからウイグルへ中央アジアのペルシャからトルコへの変遷、チンギスハーンのモンゴル帝国などダイナミックなアジア・シルクロード史が背景にある。

「アジア・シルクロードウィーク」に参加する大使館は、トルクメニスタン大使館、アフガニスタン大使館、タジキスタン大使館、ウズベキスタン大使館、カザフスタン大使館、キルギス大使館、モンゴル国大使館の 7 カ国大使館。それぞれ大使の承認を頂き、今後、三越、名橋「日本橋」保存会そして事務局役のユーラシアンクラブと運営委員会を設置し、運営委員長は加藤九祚先生にお願いする予定です。今後企画の詳細を具体的に積み上げていく計画です。この事業実施に必要な経費は、自転車振興会に補助金を申請しています。

この事業を 2020 年まで継続し、日本を含むアジアの基層文化形成に人類史的に大きな役割を果たした、シルクロード地域の重要性を広く発信する計画です。皆様のご理解ご支持を心から希望しています。

● 愛川サライの感謝祭・収穫祭 竹やぶ前のホッとする空間で一年の締めくくり。料理と馬頭琴。打縁の和太鼓演奏で

愛川サライの感謝祭・収穫祭に 30 人以上が参加。竹やぶ前のゆったりした空間を、焼き芋、大野カレー、芋煮、羊肉のスープを食べながら、モンゴルの馬頭琴奏者ウルグンさん、打縁の和太鼓演奏を楽しみました。



感謝祭には、東京、埼玉、神奈川、などから、ウィグル人、モンゴル人の友人を含め、30 人以上が集合し、それぞれ勝手に作業を分担し、差し入れのお酒やお菓子をつまんで懇談しました。



「岩に刻まれた古代美術 アムール河の少数民族の聖地シカチ・アリャン」展が間もなく閉館。好評の中再開の希望。

ドンカンさんが来日、1月6日午後6時から展示解説を行いました。

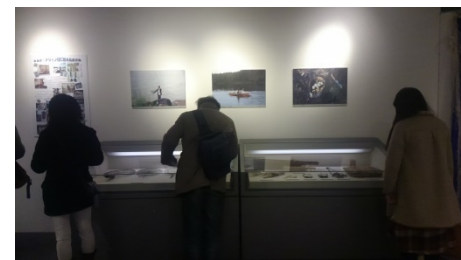
**3 会場の展覧会を訪れた人は約 4 万人。次は 3 年後民博の所蔵品巡回展として開催
今後は、村の子どもたちを年に 2 人ずつ 10 年で 20 人招へいして村に役立つ研修を実施**

昨年 5 月から 7 月、大阪の国立民族学博物館で、9 月から 10 月、新潟の新潟県立歴史博物館で、そして現在横浜のユーラシア文化館で開催中の上記展覧会は、今年 1 月 11 日をもって終了し、第一期の展覧会は終了します。1 2 月 13 日横浜ユーラシア文化館で開催された記念講演会で佐々木史郎民博教授が触れたとおり、3 年後にもう一度、北海道、仙台、名古屋、九州等での国立民族学博物館収蔵品巡回展の形で展覧会を開催する方向で調整中です。また、シカチ・アリャン村の歴史や神話、宗教、岩面の解説や多くの写真、図版を盛り込んだ解説図録を特別価格 700 円で頒布します。シカチ・アリャン村に興味を持つ人が増え、村を訪れる際の参考になることを期待しています。

ユーラシアンクラブが企画したこの展覧会は、村の観光文化のまちづくりに役立てることを目的に、8 年前から準備されてきたもので、北方ユーラシア学会が 1994 年に、またユーラシアンクラブが大阪のアンコールワット拓本保存会の協力で 2008 年に、シカチ・アリャン村のアムール河の岸辺に密集する岩面の拓本を採集していた拓本を中心に、シカチ・アリャン村村民の協力で、学校教諭ドンカン・ビクトリヤさんが購入したり寄付を仰いだ民俗資料（衣類、漁労具、民芸品、遊具等）を国立民族学博物館に買い取っていただくことで実現したものです。いわば、シカチ・アリャン村住民と民間 NP0 の協力で主催した「手作りの展覧会」となりました。大阪の国立民族学博物館での展覧会オープニングには、ドンカンさんのほかニーナ村長、村の芸能を披露する五人の子ども達、新潟の歴史博物館でのオープニングにはドンカンさん一人が招聘され挨拶。そして最後となる横浜ユーラシア館では、1 月 6 日に行われる展示解説を直接行うためにドンカンさんが来日しました。村民の力で成立した展覧会でした。



横浜ユーラシア文化館の展示は、これまでの2回の展覧会にない拓本のワークショップ（拓本体験）、缶バッジの制作体験も含め、オクラドニコフの岩画番号と拓本が比較できるようにされ、井出憲彰さんが撮影した写真も効果的に併用され、これまでにない展覧会企画であることを示す工夫が見られました。村民手作りの展覧会を象徴する展示解説（ギャラリートーク）は6日午後6時から。また、ドンカンさんは、午後から展覧会を視察します。質問等、ご興味のある方はおいでになり、自由にお話しただけです。どうぞお出で下さい。



横浜ユーラシア文化館で展示解説を行ない、無事、展覧会を締めくくったドンカン・ビクトリヤさん



発行：特定非営利活動法人ユーラシアンクラブ 発行人：江藤セダカ
住所：〒103-0022 東京都中央区日本橋室町 1-11-5 TEL：03-5376-9343
支部愛川サライ〒243-0303 神奈川県愛甲郡愛川町中津 6314-1
TEL：046-285-4895 FAX：046-265-0167 E-MAIL：paf02266@nifty.ne.jp
郵便振替：00190-7-87777 ユーラシアンクラブ お振込の場合：ゆうちょ銀行〇一九店 当座預金 0087777 ユーラシアンクラブ 会費、ご寄付はこちらへ。会費は正会員年間1口3,000円、学生会員1,000円、賛同会員2,000円。一口以上のご協力をお願い申し上げます。

<http://eurasianclub.org/>

2016 0101 Non Profit Organization Eurasian Club

編集後記：人類史が刻んできた国家民族宗教の歴史を見直さないといいけない地点にいる。少なくともISをテロリストとだけ捉えているのではなく、現存の全ての国家の鏡として、どう解決するか考えないところに、現在の人類の悲しい現状があると思う。大手を振ってまかり通る大国の危うさには、避けられない大乱の予感さえる。原発も「北」の水爆も、「聖戦」が男系社会の国家イデオロギーとして機能していることも地上に埋め込まれた地雷に見える。最後の氷河期を潜り抜けて、地上に出現したヒブシサーマルの時代に、農耕を覚え、地下資源を知って、農耕文明が肥大し、その中から棄民傭兵を「国家」に抛出する男系植民地帝国が出現した。不幸の源（お）